

第4章 環境保全の取組状況をチェックしよう！

本章では、まず学校での環境保全の取組状況をチェックします。現時点での環境保全への取組状況を認識することにより、今後実施していくべき具体的な取組を明らかにすることを目的としています。

各学校で取り組んでいる内容について、次ページ以降のチェックリストを利用してチェックし、それぞれの項目について、以下のように評価欄に記入してください。

- ・すでに取り組んでいる項目には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○
- ・ある程度取り組んでいるが、さらに取組が必要な項目には・・・・・・・・△
- ・取り組んでいない項目には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・×
- ・取組に該当しない項目には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・／

チェックの結果、「○」、「△」、「×」が付された項目のうち今後重点的に取り組んでいく必要があると考えられる事項は、第5章の環境行動計画に記述し、重点的に取り組むことが考えられます。

また、チェックの結果は保存しておき、年度ごとの取組の進展の把握に活用してください。

なお、児童・生徒、教職員で取組内容が異なるため、チェックリストは児童・生徒用、教職員用の2種類があります。

チェック項目の取組内容はあくまでも代表的な例ですので、適宜取組内容を追加などしていただいても結構です。

取組チェックリスト

児童・生徒用

取組項目	取組内容	評価	小学校	中学校	高校
二酸化炭素排出量の削減 (エネルギー使用量の削減)	教室・トイレなどの照明は、こまめに消している。				
	校内の電力使用量を調べ、その結果を児童会・生徒会などで発表している。				
ごみ排出量の抑制 リサイクルの推進	ごみの分別とリサイクルを徹底している。				
	給食を残さないようにしている。				
	学校行事で生じるごみの量を調べている。				
	ゴミの少ない行事を実施している。				
節水・水の効率利用	水道の蛇口は確実に閉めている。				
	掃除のぞうきはバケツで洗うようにしている。				
	給食の食器の汚れを紙・スプーン等で除いている。				
グリーン購入の推進	文房具はエコマーク商品など環境にやさしい商品を買っている。				
実践的環境学習の推進	ごみゼロ運動などの地域の清掃活動に参加している。				
	環境に関するイベントやクラブ活動などに参加している。				
	こどもエコクラブに参加・協力している。				
	グリーンマークを集めている。				
	花壇や飼育動物の世話や観察をしている。				
	ビオトープの手入れや観察をしている。				
環境保全のための仕組み・体制の整備	環境保全のための役割分担や責任などが明確に定められている。				
	環境を担当する児童・生徒、あるいは組織が明確になっている。				

教職員用

取組項目	取組内容	評価	小学校	中学校	高校
二酸化炭素排出量の削減 (エネルギー使用量の削減)	教室・トイレなどの照明は、こまめに消している。				
	OA機器のスイッチをこまめに消している。				
	空調の適温化(冷房28度程度、暖房19度程度)を徹底している。				
	照明の適正化、昼光の利用を積極的に行っている。				
	通勤時の自動車の利用を控えている(自転車、公共交通機関の利用)。				
	省エネ、地球にやさしい発電の学習指導を行っている。				
	太陽光発電、風力発電などによる自然エネルギーを利用している。				
ごみ排出量の抑制 リサイクルの推進	紙、空き缶、空き瓶、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの配置などにより、ごみの分別を徹底している。				
	職員室のごみ箱の配置数を減らしている。				
	シュレッダーの使用を秘密文書等に限っている。				

取組チェックリスト

取組項目	取組内容	評価	小学校	中学校	高校
ごみ排出量の抑制 リサイクルの推進	コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収とリサイクルに取り組んでいる。				
	リサイクルに関する学習指導を行っている。				
	生ごみ処理機を導入している。				
	ごみの少ない行事を実施している。				
節水・水の効率利用	水道の蛇口は確実に閉めるようにしている。				
	蛇口に節水こま(適量の水を流す機能を持つこま)を設置している。				
	プール・グラウンド等での水を節約している。				
	トイレに「水流し音発生器」をつけるなどにより、トイレ用水を節約している。				
	雨水を貯留し散水等に利用している。				
	水資源保全の学習指導を行っている。				
紙使用量の削減	会議資料や事務手続書類の簡素化に取り組んでいる。				
	両面印刷、両面コピーを徹底している。				
	使用済み用紙の裏紙を利用している。				
	使用済み封筒を再利用している。				
	A4判化等による文書のスリム化に取り組んでいる。				
	電子メディア等の利用によるペーパーレス化に取り組んでいる。				
グリーン購入の推進	物品を購入する際には、石川県リサイクル認定製品、国のグリーン購入リスト、エコマーク、グリーンマークの表示製品から優先的に選定している。				
	OA機器、照明機器等の購入にあたっては省エネルギー型のものを選択している。				
実践的環境学習の推進	児童・生徒を対象とした環境に関する授業を実施するなど環境教育を実施している。				
	教職員を対象とした環境教育を実施している。				
	図書室に環境に関する図書を豊富に揃えている。				
	ごみゼロ運動などの地域の清掃活動に参加している。				
環境保全のための仕組み・体制の整備	環境保全のための役割分担や責任などが明確に定められている。				
	環境を担当する教職員、あるいは組織が明確になっている。				
	環境意識の向上や、環境保全に必要な教育を行う計画を定めている。				
	環境保全活動に必要な情報やその実績、評価結果などが内部で適切に伝達される仕組みが整えられている。				

小学校、中学校、高校の欄に記入してある 印は、取組が可能な項目という意味です。
また / 印は取組に該当しない項目という意味です。